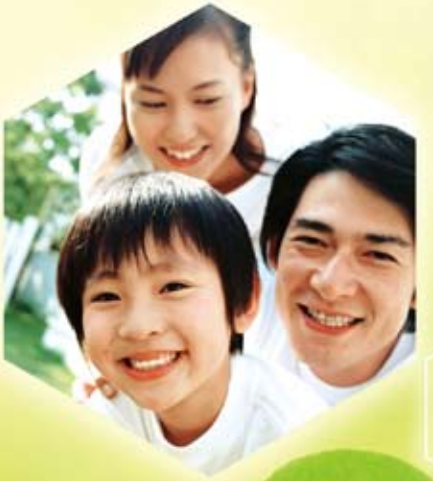
POWER TO EXPAND TO THE FUTURE 64



株主の皆様へ

第64期 中間事業報告

平成21年12月1日 ～ 平成22年5月31日

大阪有機化学工業株式会社
OSAKA ORGANIC CHEMICAL INDUSTRY LTD.
http://www.ooc.co.jp/

証券コード 4187

株主の皆様へ
TOP MESSAGE

CONTENTS

01 株主の皆様へ
03 TOPICS
05 売上高の構成（連結）
06 事業フィールド
07 中間連結貸借対照表
08 中間連結損益計算書、
中間連結キャッシュ・フロー計算書、
業績の推移
09 会社概要
10 株式の状況
11 株主メモ

株主の皆様にはますますご清栄のこととお慶び申しあげます。

平素は格別のご支援、ご指導を賜わり有難く厚く御礼申しあげます。

第64期上期（平成21年12月1日から平成22年5月31日まで）の決算を行いましたので事業の概況についてご報告申しあげます。

当第２四半期連結累計期間におけるわが国経済は、中国をはじめとするアジア経済の回復等を背景に輸出や生産面で改善が見られ、景気の緩やかな持ち直しの傾向が続いておりますが、依然として雇用情勢は厳しい状況下にあり、欧州を中心とした財政悪化等の景気を下押しするリスクも想定される中で推移いたしました。

当社グループを取り巻く環境におきましては、原材料価格が上昇局面に入る一方で、自動車塗料や電子材料分野を中心として、需要が引き続き回復してまいりました。

このような情勢の下で、当社グループにおきましては、選択と集中による持続的な成長力の構築を基本軸に、新製品開発のための技術力の強化や生産コスト削減等に取り組んでまいりました。この結果、当第２四半期連結累計期間の売上高は108億８千万円（前年同期比48.9％増）、営業利益は10億５千万円（前年同期は営業損失２億６千1百万円）、経常利益

は10億４千８百万円（前年同期は経常損失２億３千６百万円）、四半期純利益は7億２千８百万円（前年同期は四半期純損失12億４千７百万円）となりました。

当期の配当金につきましては、長期的な観点に立ち財務体質と経営基盤の強化を図るとともに株主の皆様への利益還元を経営の重要政策として位置づけ、会社の業績や今後の事業計画に備えた内部留保等を勘案してバランスをとりつつ決定しており、当初は1株当たり年間8円（中間4円、期末4円）を予定しておりましたが、業績の回復が当初予想を上回る結果となり、中間配当を6円に修正させていただきました。また、期末配当につきましては、6円（年間12円）を予定しております。

当期の見通しにつきましては、景気の持ち直しの動きが続いており、自動車・電機等の各産業における需要が回復する中で、個人消費や雇用情勢は依然として厳しい状況の中で推移するものと予想されます。当社グループを取り巻く事業環境につきましても、原燃料高の影響によるコスト増等、先行きの不透明感は継続するものと予想しております。

このような情勢の下、当社及び子会社といたしましては、安全確保を第一に、製品の徹底した品質管理と生産コストの削減や環境保全に努め、業績回復に向けて新規製品の開発・販売に全社を挙げて取り組んでいくとともに、引き続き大阪工場の再整備計画を進め、全社での製品生産体制合理化の強化と業績の向上を目指し、一層の財務内容の健全化を進める所存であります。

現時点での通期の連結業績見通しは、売上高218億１千５百万円、営業利益17億６千１百万円、経常利益17億５千４百万円、当期純利益11億４千６百万円を予定しております。

株主の皆様におかれましても、なにとぞ一層のご指導とご支援を賜りますようお願い申しあげます。

平成22年8月

取締役社長
鎮目 泰昌

タッチパネル用材料を開発

～新規ディスプレイ材料への展開～

当社はこれまで液晶ディスプレイ材料の分野におきまして、柱状スペーサや着色レジストの材料を提供してまいりました。また、最近では3Dテレビに使用可能な光硬化型位相差材料の開発に成功しました。今回、新規材料として、タッチパネル用材料をご紹介いたします。

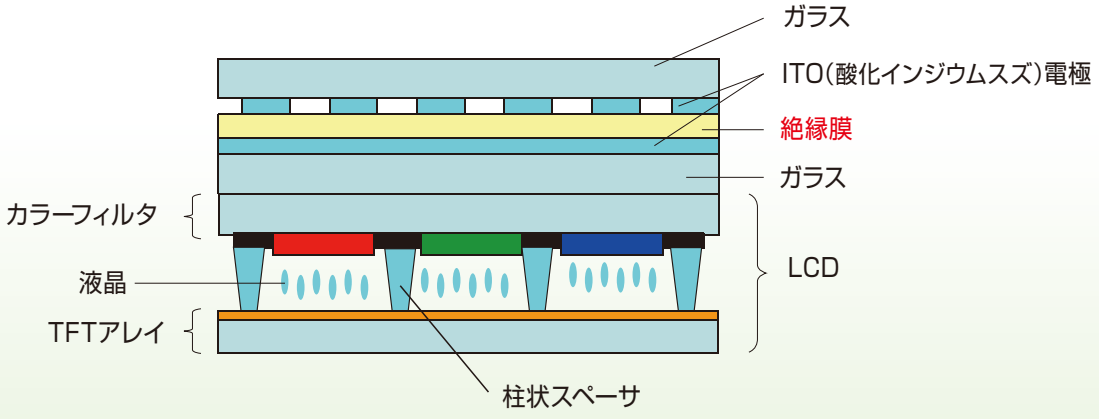
ディスプレイ市場では、これまでの面倒なボタン操作やリモコン操作が無く、画面に触れるだけで操作が可能なタッチパネルが急速に普及してきております。これから更にタッチパネル市場は拡大し、2014年には3,500億円に達すると予想されています。

タッチパネルには、タッチした位置の検出方法に5種類の方式が有り、画面の大きさや用途に合わせて使い分けられていますが、「抵抗膜方式」と「静電容量方式」の2種類がほとんどを占めます。当社が開発した製品は「静電容量方式」の絶縁膜材や、「抵抗膜方式」の2種類のスペーサ材として使用されます。

1. 静電容量方式用絶縁膜材

静電容量方式(図1.)のタッチ位置の検出方法は、指で触れた場所の電気容量変化を測定する事で行います。そこで、画面上には多数の電極が交差しておりますが、それぞれの電極間は非常に狭く微量な電気容量変化を感知しきれず、誤作動の可能性があります。そのため電極

図1.静電容量方式イメージ図。



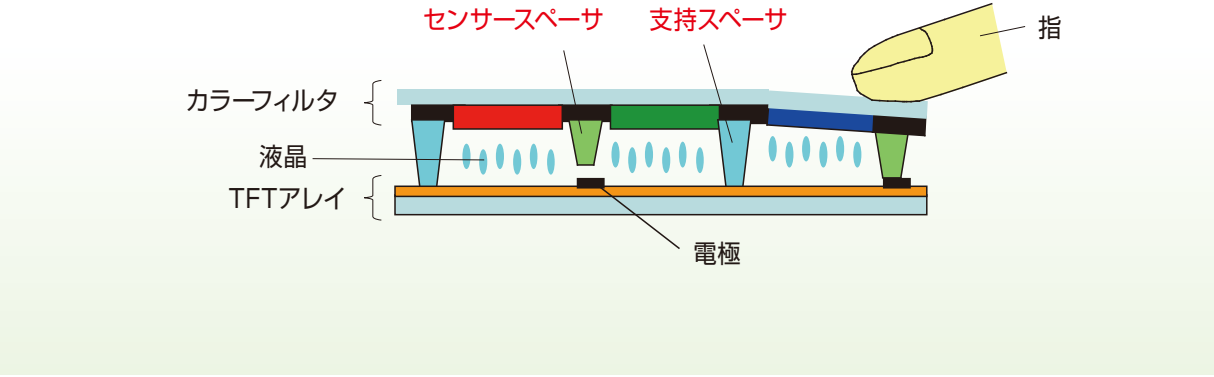
間に、誤作動防止用の絶縁膜が必要になります。当社が開発した製品は絶縁性に優れている上に、微細なパターニングが出来る事から、電極の間を細かに分離する事が可能となり、誤作動を防止出来ます。

2.インセル抵抗膜方式用柱状スペーサ材

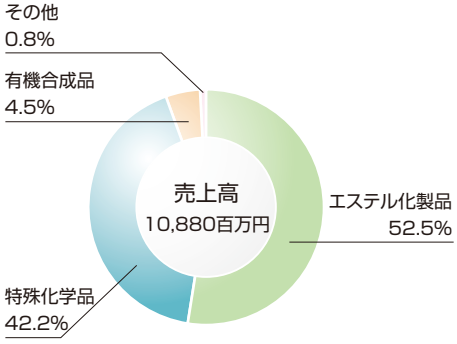
現在の抵抗膜方式タッチパネルは、タッチセンサーをディスプレイの上に張り合わせて使用しているため、全体が厚くなってしまうのが課題です。そこで、タッチセンサー機能をディスプレイの中に組み込む「インセル型（図2.）」が開発されました。インセル型に必要な柱状スペーサの機能は、従来のカラーフィルタとTFT電極の間の支持機能にプラスして、センサー機能が要求されます。当社がこれまでカラーフィルタ向けに開発してきた柱状スペーサ材の技術を応用することで『タッチパネル用支持スペーサ』と『センサースペーサ』を開発いたしました。これにより、タッチパネルの厚みを従来の60%に薄型化する事が出来ます。

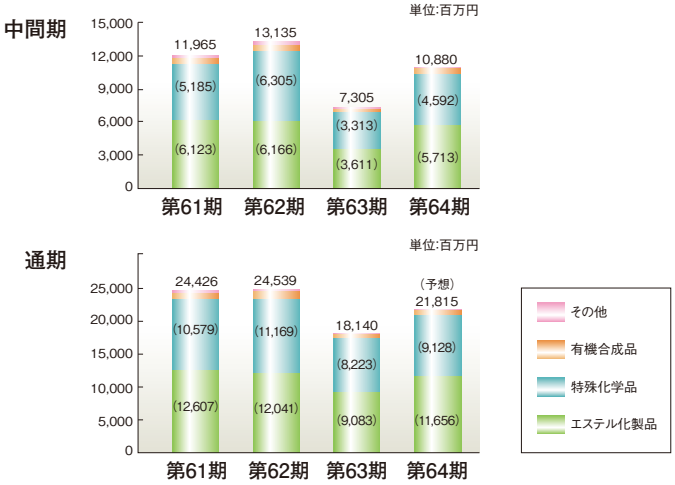
このようにディスプレイ業界では、新しい技術が日々開発されております。当社は、その技術を実用化するために必要な材料の研究開発に注力し、スピーディに提供していく事で、新技術の早期実現に貢献してまいります。

図2.インセル型抵抗膜方式イメージ図



連結





連結経営成績

エステル化製品部門

主要商品：● 自動車塗料･建築材料等塗料 ● 光ファイバー被覆剤 ● 下水処理剤 ● 紙力増強剤

エステル化製品部門におきましては、自動車特殊塗料向けや情報関連分野向け等のアクリル酸エステルが前年同期比159.2%、建築材料向けや粘接着剤向け等のメタクリル酸エステルは、前年同期比173.1%と大幅に増加いたしました。この結果、部門全体の売上高は57億1千3百万円（前年同期比58.2%増）となりました。

有機合成品部門

主要商品：● アクリル酸

有機合成品部門におきましては、粘接着剤向け等が前年同期比141.4%と好調に推移いたしました。この結果、部門全体の売上高は4億8千8百万円（前年同期比44.7%増）となりました。

特殊化学品部門

主要商品：● 液晶用材料 ● プリント基板用液状レジスト ● 医薬中間体 ● 化粧品原料

特殊化学品部門におきましては、液晶材料や半導体材料を中心とする電子材料グループは前年同期比156.6%、繊維用撥材等のその他ファイングループも前年同期比141.9%と大幅に増加いたしました。化粧品ポリマーグループは前年同期比104.8%と堅調に推移したものの、医薬中間体グループは不採算製品の見直しにより前年同期比73.8%と減少いたしました。この結果、部門全体の売上高は45億9千2百万円（前年同期比38.6%増）となりました。

その他部門

主要商品：● 試薬

その他の部門では、試薬等で売上高は8千5百万円（前年同期比102.9%増）となりました。

BUSINESS FIELD 事業フィールド

自動車塗料

下水処理剤

紙力増強剤

有機合成品
- アクリル酸

エステル化製品（アクリル酸エステル等）

汎用モノマー
- 単官能モノマー
- 多官能モノマー

光ファイバー被覆剤

粘接着剤

一般塗料

特殊モノマー
- 単官能モノマー
- 多官能モノマー

エステル化技術
重合防止技術

ファイングループ
- 繊維用撥材原料など

その他
- 試薬

精密有機合成
立体制御技術

電子材料向け
レジストポリマー
- プリント基板用液状レジスト
- 液晶用材料

機能性ポリマー
合成技術
重合制御技術

医薬中間体
- 光学活性エポキシド類

プリント基板用液状レジスト

化粧品ベースポリマー
- ヘアケアポリマー

特殊化学品

医薬中間体

液晶用材料

化粧品原料

中間連結貸借対照表

中間連結貸借対照表

（単位：百万円）

科　目	当中間期 22.5.31現在	前中間期 21.5.31現在	前　期 21.11.30現在
（資産の部）			
流　動　資　産			
現金及び預金	4,640	1,376	2,459
受取手形及び売掛金	6,128	4,793	6,032
有価証券	241	-	699
製品	1,794	1,659	1,529
仕掛品	660	720	690
原材料及び貯蔵品	629	661	727
繰延税金資産	137	327	158
その他	43	88	63
貸倒引当金	△ 8	△ 19	△ 20
流動資産合計	14,266	9,606	12,342
固　定　資　産			
有形固定資産			
建物及び構築物	4,685	5,059	4,878
機械装置及び運搬具	2,868	3,381	3,285
土地	2,096	2,096	2,096
建設仮勘定	16	495	4
その他	223	199	269
有形固定資産合計	9,890	11,231	10,533
無形固定資産	1	2	2
投資その他の資産			
投資有価証券	3,538	2,804	3,113
長期預金	300	-	-
保険積立金	255	227	253
繰延税金資産	89	-	60
その他	81	73	82
貸倒引当金	△ 0	-	△ 0
投資その他の資産合計	4,265	3,105	3,509
固定資産合計	14,157	14,339	14,045
資産合計	28,424	23,946	26,387

科　目	当中間期 22.5.31現在	前中間期 21.5.31現在	前　期 21.11.30現在
（負債の部）			
流　動　負　債			
支払手形及び買掛金	3,140	2,181	3,200
短期借入金	7	770	22
1年内返済予定の長期借入金	774		444
1年内償還予定の社債	160	160	160
未払金	510	1,028	503
未払法人税等	441	19	63
賞与引当金	28	-	17
役員賞与引当金	20	-	-
その他	664	201	254
流動負債合計	5,746	4,360	4,667
固　定　負　債			
社債	540	700	620
長期借入金	1,918	46	1,500
繰延税金負債	11	73	8
退職給付引当金	146	136	136
役員退職慰労引当金	410	477	477
固定資産撤去損失引当金	280	280	280
その他	4	-	5
固定負債合計	3,311	1,714	3,028
負　債　合　計	9,058	6,075	7,695
（純資産の部）			
株　主　資　本			
資本金	3,318	3,318	3,318
資本剰余金	3,300	3,295	3,295
利益剰余金	12,684	11,354	12,037
自己株式	△ 468	△ 547	△ 549
株主資本合計	18,833	17,420	18,101
評価･換算差額等			
その他有価証券評価差額金	372	288	438
評価･換算差額等合計	372	288	438
少数株主持分	160	162	151
純資産合計	19,366	17,870	18,692
負債純資産合計	28,424	23,946	26,387

中間連結損益計算書、中間連結キャッシュ・フロー計算書、業績の推移

中間連結損益計算書

（単位：百万円）

科目	当中間期 21.12.1より 22.5.31まで	前中間期 20.12.1より 21.5.31まで	前期 20.12.1より 21.11.30まで
売上高	10,880	7,305	18,140
売上原価	8,311	6,353	15,134
販売費及び一般管理費	1,518	1,213	2,577
営業利益(△損失)	1,050	△ 261	428
営業外収益	65	40	120
営業外費用	68	15	52
経常利益(△損失)	1,048	△ 236	495
特別利益	157	60	81
特別損失	0	1,212	1,294
税金等調整前四半期(当期)純利益(△純損失)	1,205	△ 1,388	△ 717
法人税、住民税及び事業税	425	6	52
法人税等調整額	43	△ 119	△ 201
少数株主利益(△損失)	7	△ 28	△ 40
四半期(当期)純利益(△純損失)	728	△ 1,247	△ 528

中間連結キャッシュ・フロー計算書

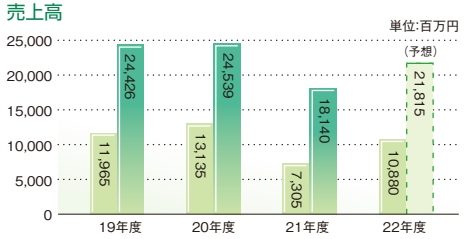
（単位：百万円）

科目	当中間期 21.12.1より 22.5.31まで	前中間期 20.12.1より 21.5.31まで	前期 20.12.1より 21.11.30まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,870	436	2,099
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,048	△ 1,118	△ 2,825
財務活動によるキャッシュ・フロー	659	244	1,271
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	△ 0	△ 0
現金及び現金同等物の増減額(減少は△)	1,481	△ 437	545
現金及び現金同等物の期首残高	2,293	1,748	1,748
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,774	1,310	2,293

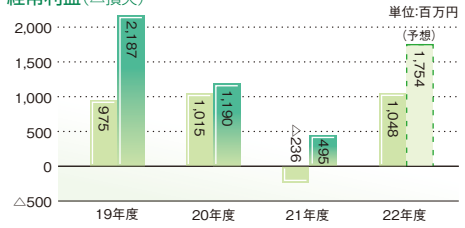
業績の推移

中間期　通期

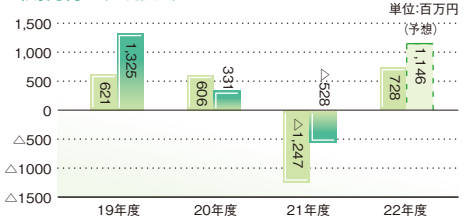
売上高



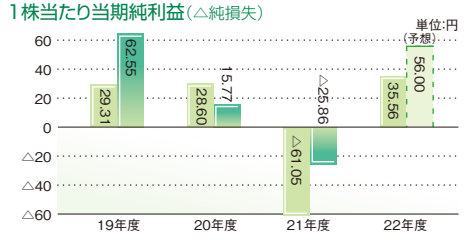
経常利益(△損失)



当期純利益(△純損失)



1株当たり当期純利益(△純損失)



会社概要

会社概要（平成22年5月31日現在）

商号	大阪有機化学工業株式会社
設立	昭和21年12月21日
資本金	3,318,344,296円
発行済株式総数	21,787,038株
株主数	3,556名
従業員数	387名
主な事業内容	各種エステル化製品、有機合成品、特殊化学品等の製造及び販売

本社

東京オフィス

本社及び事業所

本社	大阪市中央区安土町1丁目7番20号（新トヤマビル） TEL.06(6264)5071
東京オフィス	東京都中央区日本橋本町1丁目7番2号（ニュー江戸橋ビル） TEL.03(6202)7051
大阪工場	大阪府柏原市片山町18番8号 TEL.072(978)6261
金沢工場	石川県白山市松本町1600-1 TEL.076(276)6261
酒田工場	山形県飽海郡遊佐町藤崎字茂り松157番23 TEL.0234(71)5721
八千代事業所	千葉県八千代市大和田新田601番地 TEL.047(459)1271

子会社

会社名	神港有機化学工業株式会社
住所	神戸市東灘区住吉浜町18番地の26
資本金	55,000千円
従業員数	34名
事業内容	酢酸エステルの製造販売

株式の状況

役員および理事（平成22年5月31日現在）

取締役社長	鎮目　泰昌
専務取締役	白築　　良
常務取締役	上林　泰二
常務取締役	松尾　　修
取締役	松永　光正
取締役	永松　茂治
取締役	佐伯　毅明
社外取締役	安原　　徹
専務理事	相原　福雄
常務理事	山田　光信
理事役	服部　静生
理事役	岡本　　博
理事役	野口　英志
理事役	真銅　孝明
常勤監査役	伊田　忠夫
社外監査役	吉村　　勲
社外監査役	檜山　洋子

会計監査人（平成22年5月31日現在）

会計監査人　有限責任監査法人トーマツ

株式の状況（平成22年5月31日現在）

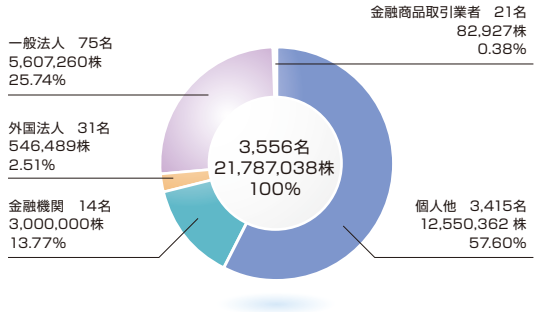
発行可能株式総数	76,000,000株
発行済株式総数	21,787,038株
株主数	3,556名

大株主

株主名	当社への出資の状況	
	持株数	出資比率
鎮目泰昌	1,766 千株	8.56 %
三菱レイヨン株式会社	928	4.49
株式会社三菱東京ＵＦＪ銀行	805	3.90
日本トラスティサービス信託銀行株式会社（信託口）	781	3.78
株式会社カネカ	700	3.39
鎮目歳子	693	3.35
嶋田早智子	538	2.60
大阪有機化学従業員持株会	496	2.40
安川義孝	439	2.12
谷川由生子	438	2.12

（注）出資比率は、発行済株式の総数から自己株式を除いた株式数（20,627,919株）を基準に算出するとともに、小数点第３位以下を切り捨てて表示しております。

株式構成



株主メモ

株主メモ

事業年度	毎年12月1日から翌年11月30日まで
定時株主総会	毎年2月
基準日	
定時株主総会関係	毎年11月30日
期末配当金受領株主確定日	毎年11月30日
中間配当金受領株主確定日	毎年5月31日
公告の方法	電子公告 http://www.ooc.co.jp/ （ただし、電子公告によることが出来ない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。）
株主名簿管理人	三菱ＵＦＪ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関 同連絡先	三菱ＵＦＪ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-0044 大阪市中央区伏見町3丁目6番3号 電話　0120-094-777（通話料無料）
	株式関係のお手続き用紙のご請求は、次の三菱UFJ信託銀行の電話及びインターネットでも24時間承っております。 ○ 電話（通話料無料） 0120-244-479（本店証券代行部） 0120-684-479（大阪証券代行部） ○ インターネットホームページ http://www.tr.mufg.jp/daikou/
同取次所	三菱ＵＦＪ信託銀行株式会社　全国本支店
単元株式数	100株 （ご注意） 1. 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続につきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。 2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店でもお取次ぎいたします。 3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

株式事務手続き

特別口座に口座をお持ちの株主様 特別口座から一般口座への振替請求 単元未満株式の買取（買増）請求 住所・氏名等のご変更 特別口座の残高照会 配当金の受領方法の指定 郵便物等の発送と返戻に関するご照会 支払期間経過後の配当金に関するご照会 株式事務に関する一般的なお問合せ	各種のお手続き、ご照会は特別口座管理機関および株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行株式会社　大阪証券代行部へお問合せください。
証券会社等に口座をお持ちの株主様のお手続き	口座を開設されている証券会社等にお問合せください。

ホームページアドレス
http://www.ooc.co.jp/